

計算の。mea 5月12日、福岡県大牟田市に生まれる。 別冊少女コミッグ兼観の 「ボーの一族」シリーズで 爆発的人気を得て今日に至る。 1976年リン領展監督受賞。 名作「11人いるリ「トーマの心臓」のほか、 最新作に「残酷な神が支配する」などがある。

カバー・イラスト……… …萩尾望都 …鈴木成ーデザイン室



9784091912534

1920179005431

ISBN4-09-191253-2

C0179 ¥543E

定価: 本体543円 +税

ポーの一族3

下一〇一小庆3 「中で、川の中洲にあるギムナジウム にエドガーとアランが現れた。天使を持つ少年ロ ビンを2人は迎えにきたのたが…。 美しい季節の サ年たちを襲う腰の5月の伝説「小島の県」、バン パネラ・ハンターとエドガーの背像にまつける悲劇 「ランプトンは詰る」、エサンズのよ高にアランが恋 する最終章にエディス…。 時を超えて生きつける、 はるかなる一族を描いた超名作の完結編。

小学館文庫 萩尾望都 作	品
11人いる!	全1卷
スター・レッド	全1卷
トーマの心臓	全1巻
訪問者	全1巻
11月のギムナジウム	全1巻
ゴールデンライラック	全1卷
半神	全1巻
とってもしあわせモトちゃん	全1巻
恐るべき子どもたち	全1卷
ウは宇宙船のウ	全1卷
ポーの一族	全3巻
Marginal マージナル	全3巻
フラワー・フェスティバル	全1卷
感謝知らずの男	全1卷
ローマへの道	全1卷
完全犯罪 フェアリー	全1卷
イグアナの娘	全1卷
海のアリア	全2卷
あぶない丘の家	全1卷

		al X			
		(t) 181			
			2		
				on "	
	200 II				
n _{ax}					
30					
			374		
			ict.		
			1987	20	
			-		
	4 8 0				27

ポーの一族

第3巻



萩尾望都

族

小鳥の巣

エディス ランプトンは語る

エッセイ 有吉玉青

280

189

139

3





































このキリアンってやつ







































































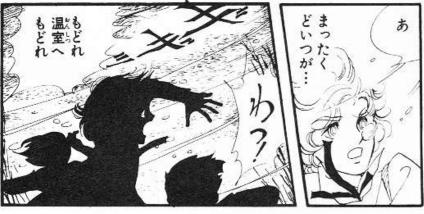


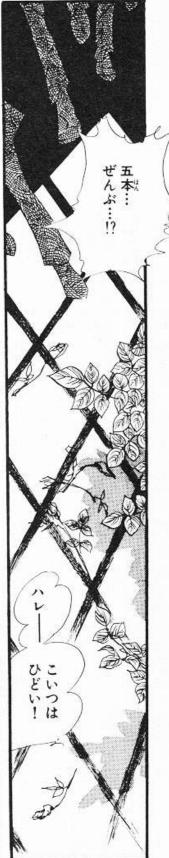
















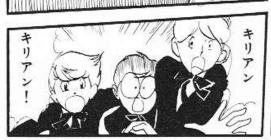










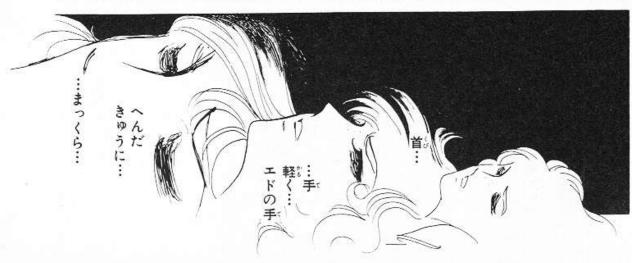






























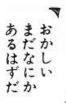




人びとをぜがなぜ

おびえ

させる?























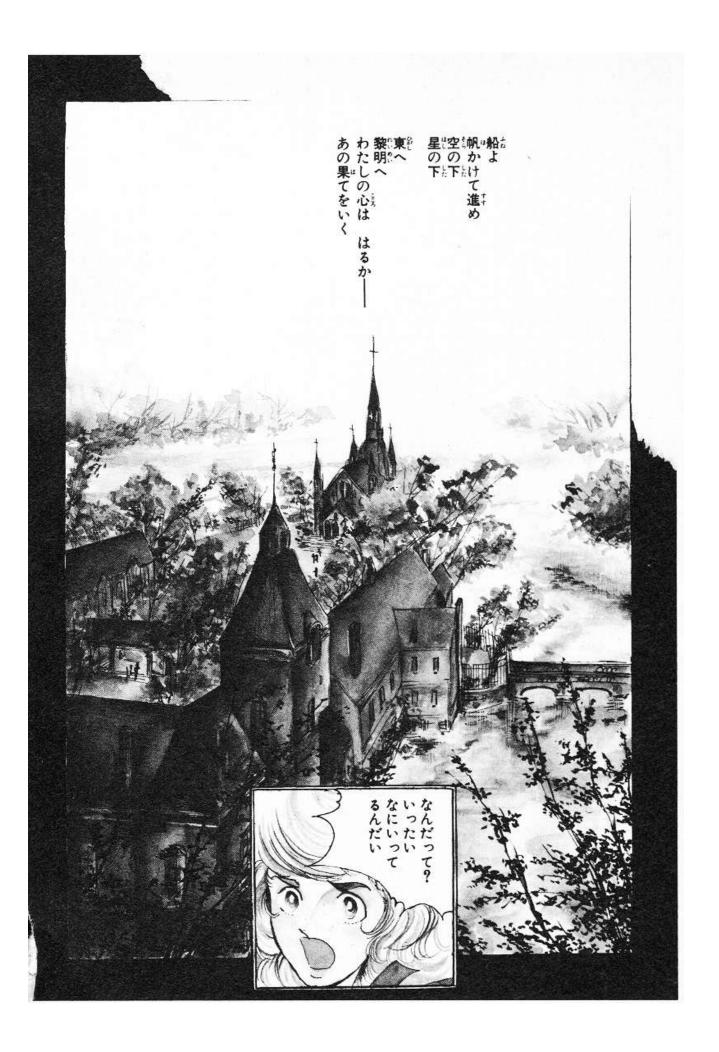


















































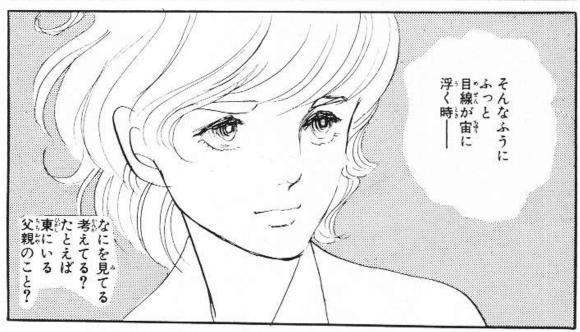




















































えものを!



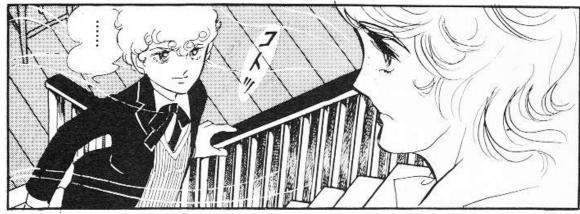
いいかた……

冗談でも……





































考え…









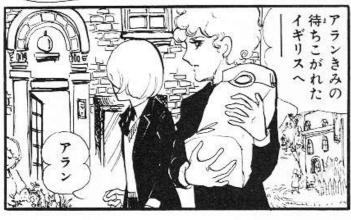






































































バンパネラ…

ばらに関してならばら?悪霊と

そういったもの?

0

もの!

た



















































































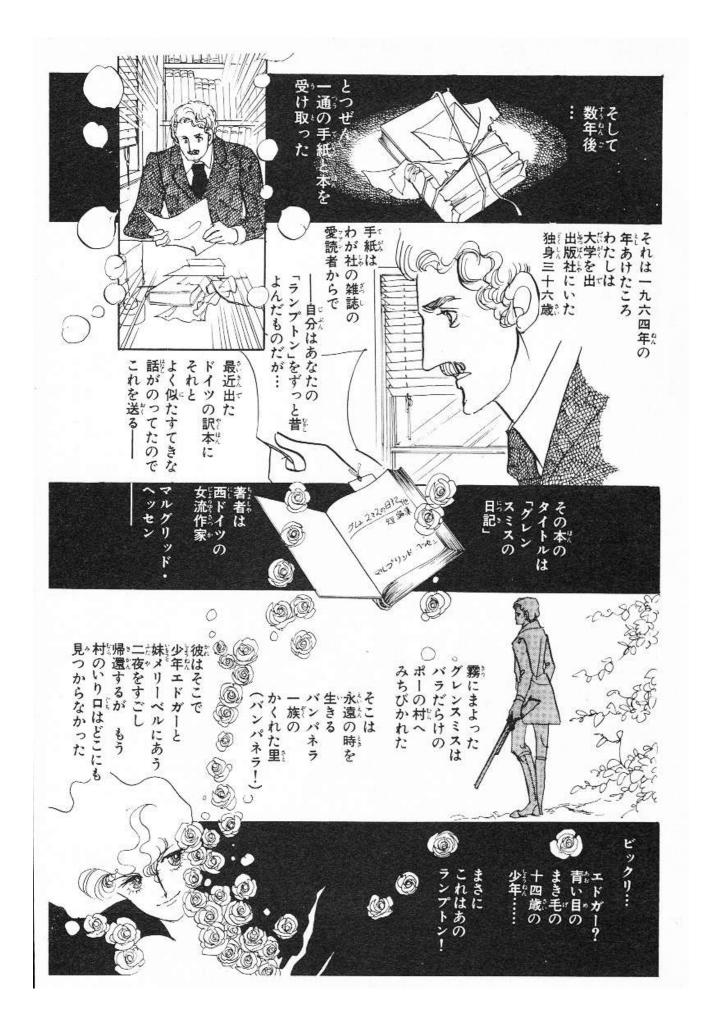


















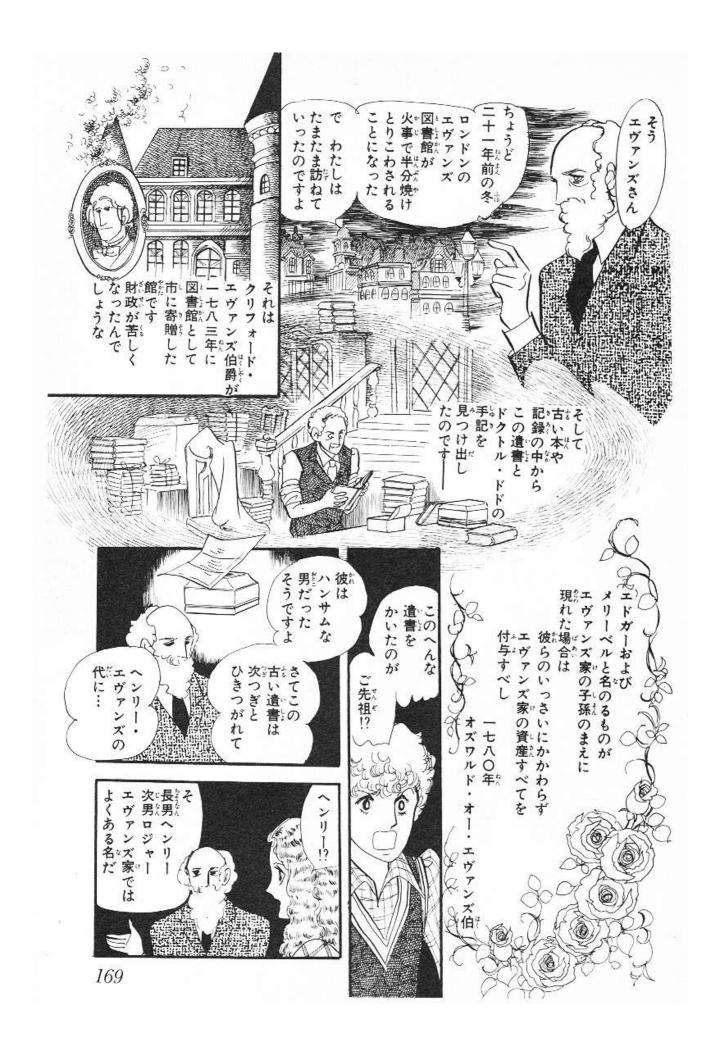
































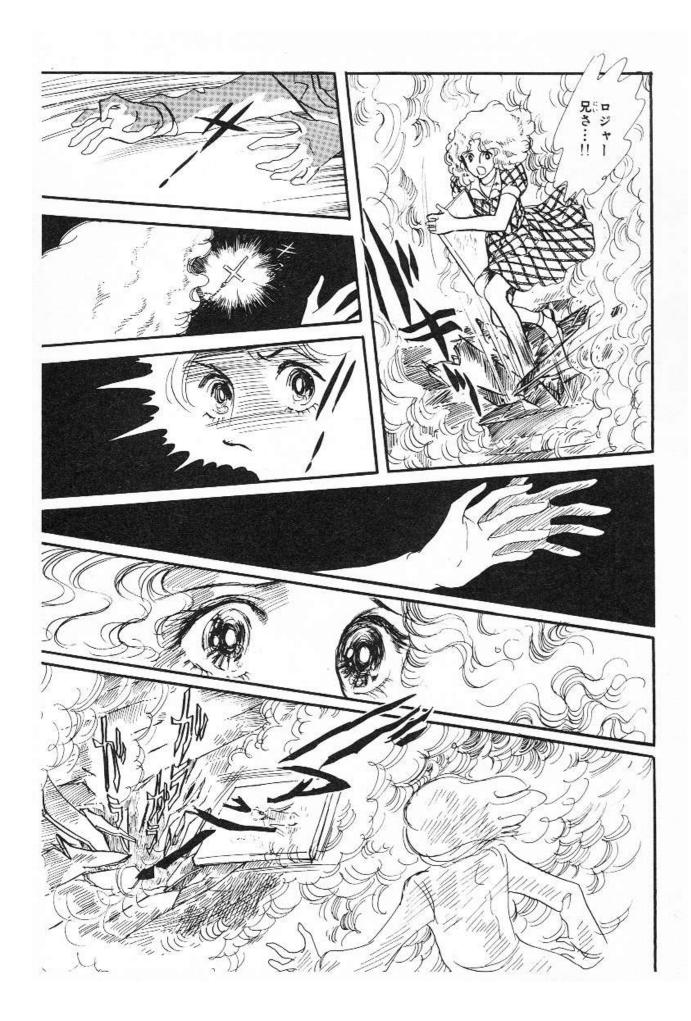


















1780年 オズワルド・オー・エヴァンズ 遺書を残す
1783年 クリフォード・エヴァンズ 館を図書館として
市に寄贈
1820年 ヘンリー・エヴァンズ エドガーとメリーベル
に会う
1879~1887年 リデル 森でエドガーとアランと暮らす
1888~1889年 クエントン 卿 ランプトンを描く
1934年 オービン エドガーに会う
1940年 オービン 年とったリデルに会う
1945年 オービン 図書館でエヴァンズの遺書を
見つける
1950年 ドン・マーシャル ランプトン画を古い館で発見
国定公園で、エドガー、アランと一夜をすごす

1959年 西ドイツ ガブリエルギムナジウムにエドガー とアラン現れる 1960年 マルグリッド・ヘッセン「グレンスミスの日 記」発表

ドン・マーシャル 同人誌に「ランプトン」発表

1953年

1964年 マーシャル マルグリッドと会う 結婚 1965年 「バンパネラ狩り」をマーシャル発表 これを見たオービン 仲間にくわわる クエントン館を買いいれる 画布多数発見 1966年 ルイス デオをたずねる

ルイス アオをにすねる クエントン館での集会と発火 シャーロッテ・エヴァンズ死亡(+ 四歳)























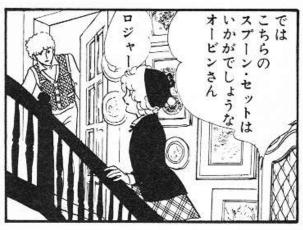


















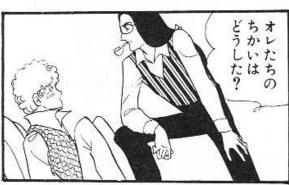






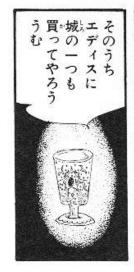


















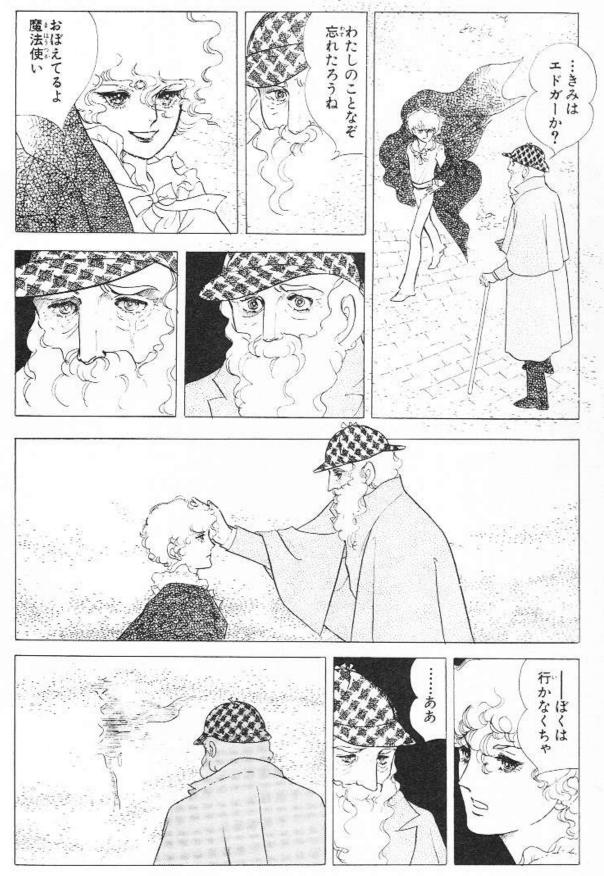
















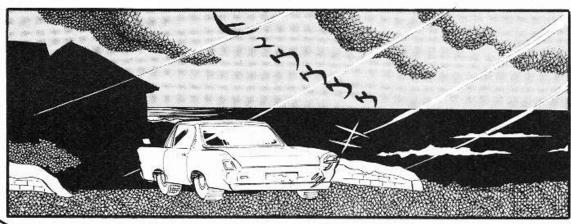












































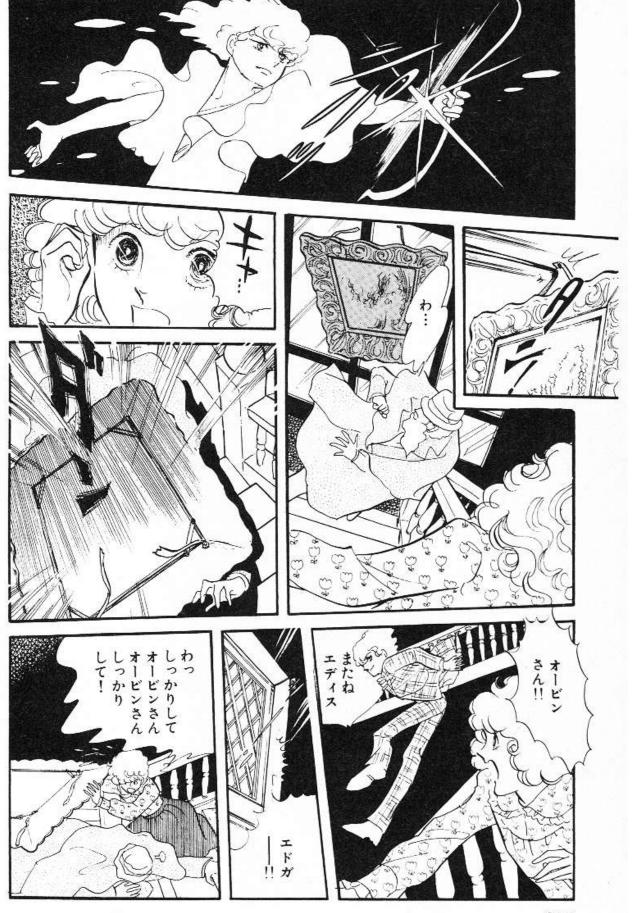




























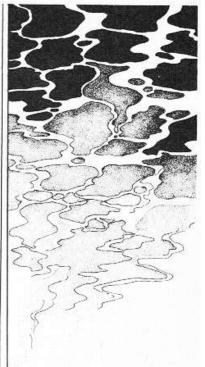














































いや?







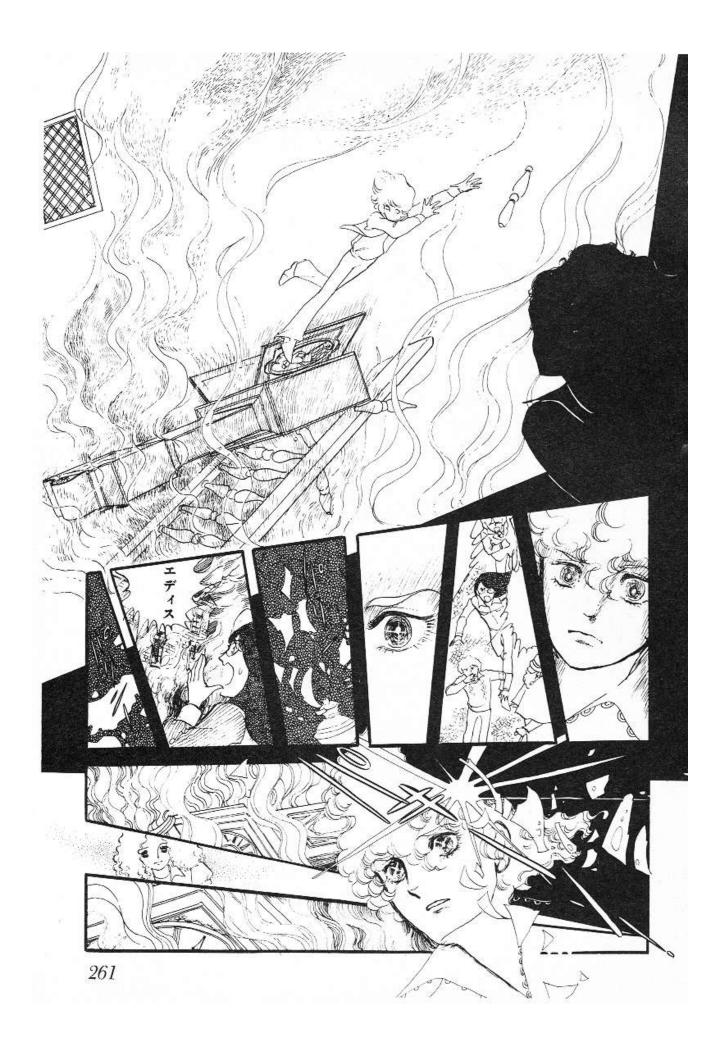


























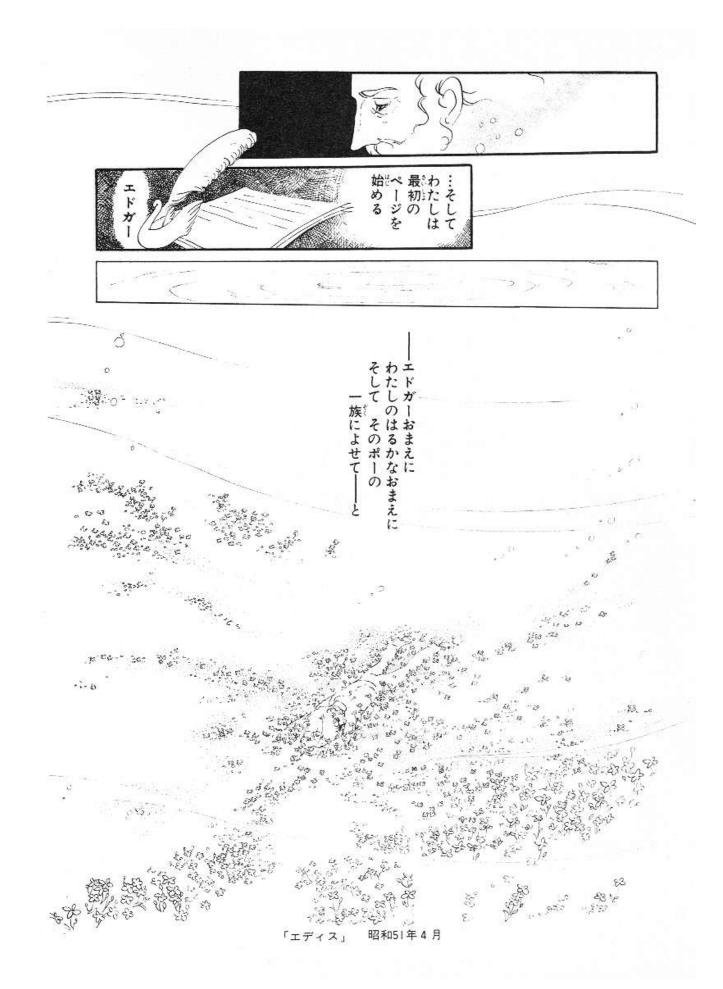












1975年度 小学館漫画賞のしらせをうけて……萩尾望都























































番 だれかこんな子をみつけたら 外 赤いバラをあげてください…… どーぞ



ポーの一族——-完——

● エッセイ ほんとうの孤独

有吉玉青

に係わってゆけるのだろうか。『ポーの一族』を読むと、そんなことを考えさせられる。 少年少女のままだ。 のだという。そうだろう、そうに違いない。けれど、人は、社会と、また人と、ほんとう エドガー、アラン、メリーベル。美しい主人公たちは、年をとらない。永遠に十四歳の 人は、一人では生きてゆけない。人は社会の中で、人との係わりあいの中で生きてゆく

十字架も平気なふりをしなくてはならない。人間社会の中に、彼らのやすらぐところはな あることに気づかれないために、鏡に映るように、脈拍があるように気をはって、苦手な い。友達をつくれない。人を愛することもままならない。 彼らは年をとらないから、ひとつの街に長くは留まっていられない。またバンパネラで

愛した者の子孫たちと、街ですれ違いながら――。 そうして彼らは時を超え、永遠に旅をする。ときに、かつて遊んだ友達の老いた姿や、

な場面で、無邪気な笑顔を見せることがあるが、それはほんとうの孤独を知る者だけが見 誰とも、何とも係われない。それは、なんと寂しいことであろうか。主人公たちはそん

せる、不気味な笑みでもあるように思われる。

ゆけるのだろうか、 さに通じるものがあるからだろう。先の問い そんなふうに、 かの遙かなる一族たちに感情移入できるのは、自分の中に、彼らの寂 というのは、私にとって、 切実なものである。 人は、社会や人と、 ほんとうに係わって

社会については、これはずっと前から。

時効になるということで、 ことだった。その年の巷の話題は、なんといっても三億円強盗事件が十二月十日をもって れは、 が、「犯人がつかまると思う人!」と、生徒に挙手を求めた。 『ポーの一族』が、別冊少女コミックに不定期に連載されていた一九七五 いつか秒読みも始まった。私のいた小学校六年生の教室でも、

度を決めるほどには、その事件を把握することができずにいたのである。盛り上がる教室 を挙げない理由もないのだった。私はどうも、その事件に興味が持てず、 の中で、 ムはふってわいたお祭り騒ぎにすぎなかったのだ。自分がブームに同化できなかったこ けれど、あのときの気持ちと似通ったものを、 口々に何かを叫びながら手を挙げる子供たちの中に、私はいなかった。 あながちおかしなことでもなかったのかもしれ 私は、 両腕を下げ、叫ぶ言葉もなく肩をすぼめているのは、なんとも孤独な経験だった。 この事件自体は、 その七年前に起きたことだということを知った。あのブ 私は今でも感じることがある。新聞を賑 ない。 それゆえに、 かといって、

直に言って、私にはよくわからない。 スの域を、 わす事件の数々を、私はどうも、身近に感じることができないのだ。ニュースが、ニュ 知識の域を出ない。首相がかわる。でも、それで何がどれだけ変わるの か Œ

った。 機になる。高度経済成長を遂げた豊かな社会は、私の中に、さしたる問題意識を育まなか う気も。これは私が、安保、日中、ベトナムといった問題が最も熱を帯びていた時代を過 るのである。 ぎてから青春時代を迎えたせいもあるだろうか。突出した事件は、人が社会に入るいい契 分が生まれるとうの昔に世界は始まっていて、そして、そこに入りそびれてしまったとい かに係わっている実感を持てずに、 私はときどき、この世界が、自分と係わりのないところでまわっているような気さえす 私にとって、 あるいは、 世界はいまだに途中から読み始めた連載小説のようだ。 まるで自分が知らないうちに三億円が強奪されていたように、 宙に浮く。 私は、社会と

それならば、人とは、どうか。

人たちとは、 はないらしいということに、この頃、気づき始めている。学生時代などは、肩を並べた友 そちらに関しては、私はかなりオプティミスティックでいたのだが、そう簡単なもので ほんとうのところはどうだったのだろう。 わかりあっている、同じことを考えているような気がしていたものだが、

人というのは、 自分の想像を越えたところにいる。 自分のことを思えばわかるのだが、

それはもっと自分だけのものである。誰もそれを解決できない。 は想像以上のものではない。 分という宇宙。人はそれを知らない。 誰と一緒に何をしたところで、それは出来事として自分だけのものであり、 知りようがない。 想像する以外になく、 日々複雑になってゆく自 悩みになると、 そしてそれ

を持ちたい。 人は、 ほんとうにたった一人で、社会の中に、人の中に彷徨っている。だから、 確かに係わりたいと思う。 係わり

ろう。 係わりを持てると思えるだけ幸せかもしれない。でも、 分の老いを認めることもできる。血液は脈を打つ。人を愛していいだけ幸せかもしれない。 長い時を生きるポーの一族。そのかなしみは、 われわれは、 バンパネラと違い、鏡に映った自分の姿を見ることができるし、そこに自 われわれのかなしみと、どれだけ違うだ ほんとうに持てるのだろうか。

有吉玉青

色いリボン』など。の他の著書に『ニューヨーク空間』『私はまだまだお尻が青い』『黄の他の著書に『ニューヨーク空間』『私はまだまだお尻が青い』『黄『身がわり―母・有吉佐和子との日日』で坪田譲治文学賞受賞。そ一九六三年―一月一六日、東京生まれ。作家。八九年に発表した



ポーの一族 3

1998年8月10日初版第1刷発行(検印廃止) 2002年4月1日 第6刷発行

著 者 — 萩尾望都

©Moto Hagio 1998

発行者 ———— 辻本吉昭

印刷所 ———— 図書印刷株式会社

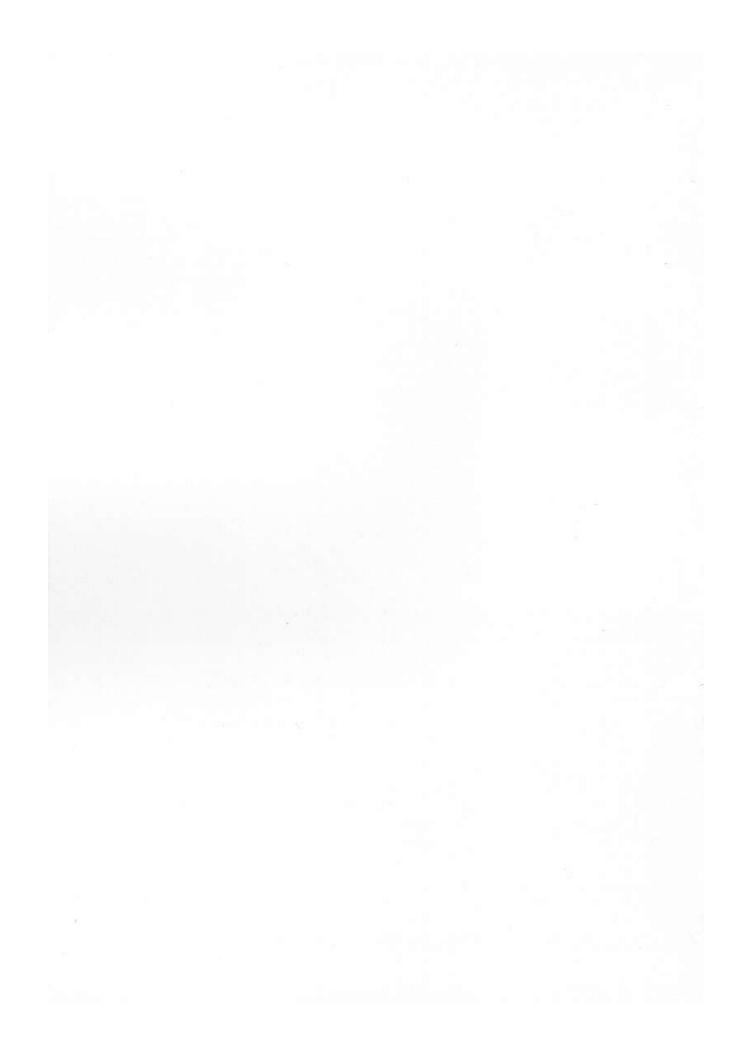
発行所 — 株式会社 小学館

101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1 振替 (00180-1-200) TEL 販売 03-3230-5749 編集 03-3230-5456

●造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁(本のページの抜け落ちや順序の間違い)の場合はお取り替えいたします。購入された書店名を明記して「制作局」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。制作局 TEL 0120-336-082 ●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などをすることは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めください。

配〈日本複写権センター委託出版物〉本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL 03-3401-2382)にご連絡ください。

ISBN 4-09-191253-2



彼女がカフェにいる 全4巻

幼なじみのみちると亮平・修介兄弟。 2人に対する みちるの気持ちは、恋?それとも恋とは別のもの?

エッセイ:

- ②杉本りえ
- ③林あまり
- ④下川香苗





天然の娘さん 全1巻

花耶子、陽子、ゴンちゃん。個性的な彼らの エピソードを描く『彼女がカフェにいる』番外編

エッセイ:宮村優子





収録作品:全女性行進曲/ああ 恋愛小市民/ばちあたりの女神/ ギョーカイであいましょう/あたし きれい?/リストラの少女

● 全巻絶賛発売中!! ●

ボーイフレンド BOY FRIEND 全6巻

高校2年生の柾と2歳上のクラスメート可奈子。 惹かれあうふたりの、激しくピュアな恋愛物語。





エッセイ:①喜多嶋隆②正本ノン③篠原千絵 ④岡部まり×惣領冬実(対談)⑤青島利幸⑥水島裕子

3 THREE 全8巻

歌手デビューを控えた理乃はギター少年ケイと出会う。 音楽に賭ける青春グラフィティ!





エッセイ:①林アキラ②横山由和③吉森いちか ④小山真弓⑤堀江美都子⑥森雅裕⑦島田歌穂⑧図子慧

ル 小学館文庫で読む 惣 領 冬 実



